

週間漁海況情報 2024年第29号

令和6年7月16日発行

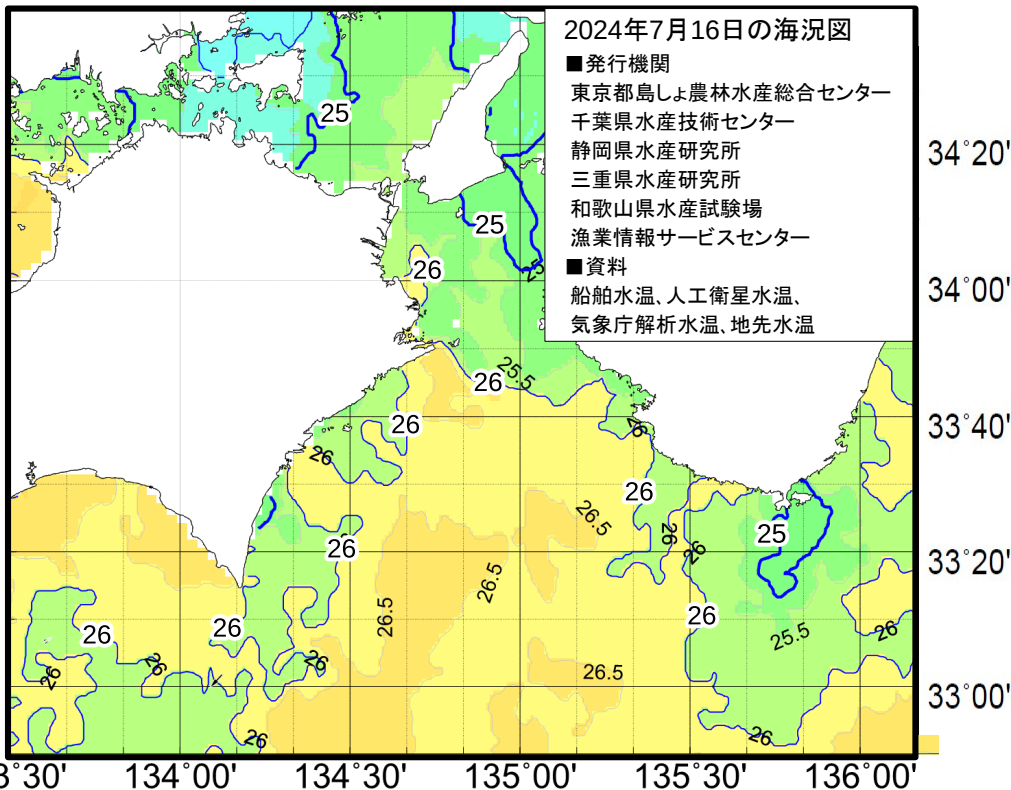
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖60マイル付近、潮岬沖125マイル付近を流れ、室戸で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。黒潮は大きく離れているが、紀伊水道外海域への暖水波及が見られる。

黒潮の表面水温は27～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で24～25℃、紀伊水道で24～26℃、海部沿岸で25～26℃台となっている。



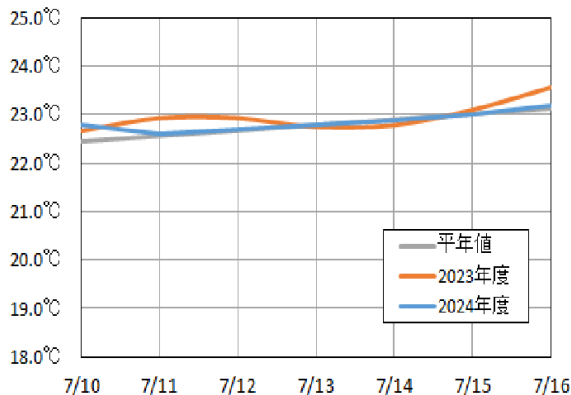
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

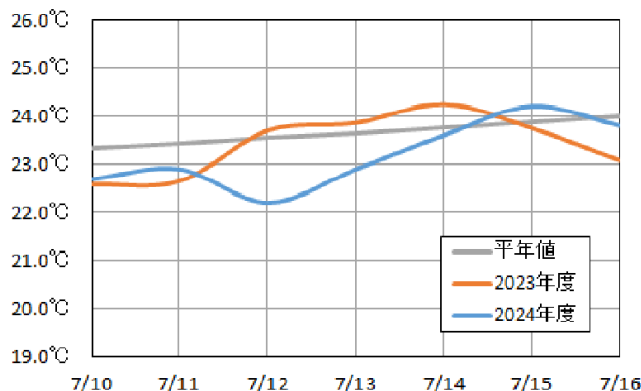
2. 地先水温(7月10日～7月16日)

鳴門地区の水温は、22.6～23.2℃で「平年並み」、浅川地区は、22.2～24.2℃で「やや低め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は-0.5～1.2℃で先週とほぼ同じ。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(7月17日～7月23日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」して推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (7月8日～7月14日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

延縄では、あまだい類が0.3ト、ハモが中主体に7.4ト水揚げされた。
 小型定置網では、ころだい類が増えて大主体に0.1ト、イシダイが大主体に0.2ト、カワハギが減って大主体に0.2ト、マアジが減って0.3ト、ふえふきだい類が大きく増えて大主体に0.3ト、マダイが0.3ト、イサキが0.4ト、ブリが増えてめじろ級主体に1.2ト水揚げされた。
 船びき網では、シラスが増えて25ト水揚げされた。
 釣りでは、イサキが減って大主体に0.5ト水揚げされた。
 底びき網では、いとより類が減って0.2ト、カワハギが減って大主体に0.2ト、マダイが減って大主体に0.3ト、えそ類が1.5ト、ハモが中主体に3.8ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、かます類が小小主体に0.1ト、マルソウダが0.2ト、カンパチが大きく増えて0.3ト水揚げされた。
 大型定置網では、マアジが大きく減って小あじ主体に4.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	29	あまだい類	269	9		→
		67	ハモ	7,358	110	中主体	→
	小型定置網	18	ころだい類	135	8	大主体	↗
		14	イシダイ	237	17	大主体	→
		21	カワハギ	242	12	大主体	↘
		20	マアジ	279	14		↘
		9	ふえふきだい類	331	37	大主体	↗↗
		20	マダイ	349	17		→
		20	イサキ	422	21		→
		13	ブリ	1,231	95	めじろ級主体	↗
	船びき網	75	シラス	24,975	333		↗
	釣り	17	イサキ	490	29	大主体	↘
	底びき網	26	いとより類	219	8		↘
		22	カワハギ	236	11	大主体	↘
25		マダイ	323	13	大主体	↘	
30		えそ類	1,549	52		→	
30		ハモ	3,835	128	中主体	→	
海部沿岸	小型定置網	12	かます類	117	10	小小主体	→
		10	マルソウダ	179	18		→
		6	カンパチ	319	53		↗↗
	大型定置網	5	マアジ	4,321	864	小あじ主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘